

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
代行装置学実習Ⅱ	1年次	必修	実習	1単位（45時間）	相田 武則 ※
授 業 概 要					
呼吸・循環・代謝に関わる生体機能代行装置及び周辺機器について、基本的な構造や動作原理を理解する。また、安全管理のための保守点検ができるよう、具体的な基本手技などについて指導する。生体機能代行装置の実際の操作実習を中心とし、時に各種モデル等も用いて機器についての理解を深める。					
到 達 目 標					
1) 生体機能代行装置について、構造・動作原理について説明できる。 2) 生体機能代行装置について、的確な準備、操作、後片付けができる。 3) 生体機能代行装置について、的確な安全対策、保守点検ができる。 4) 周辺医用機器の取り扱いができる。					
実務経験のある教員					
小池 明生 五十嵐 雄一 野口 裕幸 深町 直之 相田 武則：病院での臨床経験および企業での実務経験を踏まえ、生体代行装置の実践的な操作について解説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	呼吸療法技術(1)	代表的な換気モード(1)			野口 裕幸 ※
2	呼吸療法技術(2)	代表的な換気モード(2)			〃
3	呼吸療法技術(3)	代表的な換気モード(3)			〃
4～6	呼吸療法技術(4)	呼吸療法技術、安全対策			五十嵐 雄一 ※
7～8	体外循環療法技術(1)	人工心肺装置トラブル対応(1)			深町/相田 ※
9～10	体外循環療法技術(2)	人工心肺装置トラブル対応(2)			〃
11～12	血液浄化療法技術(1)	患者監視装置動作確認			小池 明生 ※
12～13	血液浄化療法技術(2)	血液回路プライミング			〃
14～16	血液浄化療法技術(3)	血液浄化装置操作と安全対策			〃
17～19	その他基礎実習(1)	患者管理食 腎不全食、糖尿病食			管理栄養科教員
20	その他基礎実習(2)	ガウンテクニック			相田 武則 ※
21	その他基礎実習(4)	手術室等における清潔操作手順			〃
22	その他基礎実習(5)	保育器操作			〃
23	その他基礎実習(6)	喀痰吸引実習			〃
学 習 方 法					
臨床工学技士の業務に必要な不可欠な専門領域の実習となる。しっかりと理解し操作すること。					
評 価 方 法					
レポートにより評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
臨床工学技士標準テキスト 第4版		小野哲章 他		金原出版	
MEの基礎知識と安全管理 改訂第8版		日本生体医工学会		南江堂	
配布資料					